astah ユーザー事例

ファカルティサイトライセンス
年間5万円の教育支援プログラム

学科で 1 ライセンスあれば、全ての演習、研究、さらには課外活動にも使える。いつでも、誰でも使えるのがいいですね。

公立はこだて未来大学
准教授 伊藤 恵 先生

Q1. どのような用途に astah* をお使いですか

学部 3 年のソフト設計の演習で、70 - 80 名が各自でアクティビティ図・クラス図など描いています。その後の講義でもチームの要求分析の成果からアクティビティ図を描いたりしています。また、使い慣れている学生たちは PBL(Project -Based Learning) や課外活動で astah* を用意して ER 図・アクティビティ図・ステートマシン図などを描くのに使っていますね。

Q2. なぜ astah* をモデリングツールに選ばれたのですか

学生が使うので動作が安定していて演習中のトラブルが少ないことや日本語のサポートがあるのは大変助かります。 また、未来大には Mac や Linux も多いので、学生が使うときに OS を選ばないことも重要ですね。ライセンスがシンプルで価格も妥当だったことは学科で選定する時のポイントになりました。

Q3. よかったこと、気になったことはございますか

学生からは使いやすいといわれます。学科ライセンスは PBL などで学生が思い立った時に導入できるのがよいですね。講義する側としては、astah* API を使って講義支援のツールを作成できるのが嬉しいです。 気になったことなのですが、管理者権限の関係なのか Windows を使う学生がしばしばライセンスキーの登録に多少のノウハウが必要なようです。また、要望として PBL で使うときに離れた場所のチームと共同編集したい場合がありますのでそういった機能も強化される事を期待しています。

演習室の PC に入れて



学生が自由に使う



課外活動でも自由に！



すべてひとつのライセンスでご利用いただけます